

2021年
新春号

公明みさと

編集／発行

令和3年1月発行
公明党三郷市議団
三郷市役所(公明党控室)
TEL 048(953)1111

左から佐藤・鈴木・酒巻・木津市長・中野・鳴海



令和三年度 予算要望書を 市長へ提出!!

現在、未曾有の新型コロナウイルスの感染拡大と戦後最大の経済の落ち込みという困難に直面し、更に、多発する自然災害など、多様化する社会情勢です。公明党市議団(酒巻宗一団長)は、現状を踏まえ、「新しい生活様式」のもと、党の基本理念である「平和」「福祉」「教育」「環境」を柱とした、市民が安全で安心して暮らせる街づくりを推進する市政運営を求め、木津雅晟市長に対し、令和3年度予算編成にあたり諸施策に関する要望書を提出致しました。

■ 新型コロナウイルス感染症対策

- ①オンラインでの行政手続きや市民交流の場の拡充
- ②デジタル弱者等に動画配信(手話通訳付き)による丁寧な情報発信
- ③避難所に感染症対策用のマニュアル(地震編)作成と備品整備
- ④全商工業者や農家の経済活動への多面的な支援

他、13項目にわたり要望致しました。

主要望内容

1. まちづくり対策：SDGs(持続可能な開発目標)を第5次総合計画に反映し職員への意識啓発及び市民啓発の推進、マイナンバーカード活用推進、北部地区公共公益施設建設推進
2. 教育環境対策：放課後児童クラブ拡充の推進、発達障がい児の校内支援体制推進、がん教育の環境整備推進、放課後子ども教室の拡充推進、南部地区に図書館設置推進
3. 子育て支援対策：ひとり親家庭支援施策の推進、家庭訪問型子育て支援事業推進、産後ケアサポートセンター設置推進、多胎児家庭支援の拡充推進、子育て支援センター拡充推進
4. 高齢者対策：2025年問題に備え医療機関と連携した在宅介護施策の拡充推進、高齢者への虐待防止対策、生活困窮者対策
5. 防災・減災対策：高齢者世帯などに防災情報自動架電サービスの推進、災害時にSNSを活用した情報収集システムの構築、大場川下流排水機場ポンプの更新などの治水対策、道路環境整備推進
6. 健康推進対策：特定健康診査推進、がん検診拡充、健康マイレージ事業の推進

他、109項目にわたり要望致しました。

【日本一の読書のまち三郷】

—だれもがどこでも読書を楽しめるまちづくりが前進しました—

「ふれあいブックワゴン」がデビュー!

図書館をより身近に感じていただくため「ふれあいブックワゴン」がスタートをしました。三郷市のキャラクター「かいちゃん、つぶちゃん」のラッピングをしたステーションワゴンが市内をめぐります。子育て施設や市の公共施設などへ本を届け、読み聞かせのイベントなどを開催します。



コロナ禍でも楽しめる読書環境が整備されました!

コロナ禍においては、閉館中も市民が読書を楽しめる様に、かねてより行っていた24時間利用が可能な「電子図書館」の拡充をし、自粛期間中には前年の約10倍の方にご利用頂きました。更には、図書館など市内8か所の読書拠点に「貸出図書消毒機」を設置し、安心して読書を楽しめる環境整備を行いました。公明党市議団は市民総ぐるみの読書活動を推進して参りました。



12月定例議会の一般質問要旨

マイ・タイムラインの普及を!

近年多発している豪雨災害への対策として、市では、事前に「いつ」「誰が」「何をするか」を時系列に整理した防災行動計画「タイムライン」を河川別に策定しています。その上で、市民一人ひとりが、建物の構造や家族構成などの生活環境に合わせた行動計画「マイ・タイムライン」を作成し、被害を最小限に留める取り組みを進める必要があると考えます。

そこで、マイ・タイムラインの作成方法を、広報や説明会などで周知することについて質問しました。

《その他の質問》

- ◎単身高齢者の見守り強化について
- ◎認知症予防策「コグニサイズ」の推進について



手話通訳・字幕付きで動画配信を!

新型コロナウイルスの国内感染が発表されて以来、職員一丸となって感染予防や蔓延防止対策を講じてきました。5月26日に、「三郷市PCRセンター」が開設されるお知らせから、市民の皆様に直接、市長自らメッセージを伝えたいとの事で、手話通訳者と字幕付きで動画配信がされました。緊迫感があり、大変わかりやすいと好評で、多くの方から動画配信の要望が寄せられました。

視覚・聴覚障がい者の方や市民の皆さんが「重要な情報」と感じ取れるように、コロナウイルス関連や災害情報など、市のホームページに手話通訳と字幕付きで動画配信することについて質問しました。

《その他の質問》

- ◎聴覚障がい者などの環境整備について
- ◎「新しい生活様式」に向けた施策について



介護を担う家族への支援を!

核家族化により介護者は頼る人が身近にいないケースも増え、介護者への支援が必要とされる時代になっています。そこで、「介護離職・ダブルケア・ヤングケアラー」への支援について伺いました。中でも「ヤングケアラー」（18歳未満で介護を担う子どもたち）については県が高校生対象の実態調査を行ったところ、約25人に1人が「ヤングケアラー」であり、そのうち約4人に1人が孤独を感じているとの実態が浮かび、精神的なサポートの必要性を感じます。幼少の頃から介護をしてきたという子どもがいることも明らかになり、小中学生の中に潜在的に「ヤングケアラー」がいることを示唆しています。現状として、三郷市教育委員会では実態をどのように把握し、支援を行っているか質問をしました。

《その他の質問》

- ◎下第二大場川上流の環境整備について
- ◎HPVワクチン接種の情報提供について



12月議会の概要

令和2年12月三郷市議会定例会が、11月30日から12月11日までの12日間の会期で開催されました。

可決成立した主な議案は、次のとおりです。

- ①三郷市文化会館など7文化施設、総合体育館など3運動施設、老人福祉センターなど6老人福祉施設の指定管理者の指定
- ②行政組織の改善を図る条例改正
- ③市長・副市長・教育長・一般職職員の期末手当に関する条例改正
- ④国の基準等の改正に伴う条例改正（投票立会人等の報酬、国民健康保険税、居宅介護支援事業所の要件、保育施設の運営基準、電気自動車等の急速充電設備の基準）
- ⑤江戸川運動公園一帯の公園名称を統一する条例改正
- ⑥一般会計補正予算

・学校の新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品（分散授業対応プロジェクト付ホワイトボード等）購入・その他の予算が盛り込まれました。

「GIGA(ギガ) スクール構想」の整備!

「新しい生活様式」の中で、児童生徒の学習保障と学びの質の向上を目指し、GIGA(ギガ)スクール構想にもとづいた整備を行っています。

タブレット型パソコンの整備は、設定作業が終了した学校から順次、使用が可能となります。早い学校では1月中旬から、そして3月中には全ての小・中学校において整備が完了する予定です。

「三郷市GIGA3(スリー)プロジェクト」を組織し「すすめる・ひろめる・たかめる」の三段階で教員のICTを活用した指導力向上を図ってまいります。



充電保管庫

公明党市議団



さかまき 宗一
☎955-2772



中野 てるお
☎957-7686



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554



なるみ 和美
☎955-7715

くらしの相談はお気軽!!

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や年賀状など時候の挨拶状は禁止されております